

# 令和8年度 小樽市立花園小学校 学力向上改善プラン

## 1 児童の実態

- ◆ 児童の実態を下記の観点から数値をもとに文章で記載。
  - ① 前改善プランの定着目標の達成状況
  - ② 全国学力・学習状況調査結果（教科）
  - ③ 標準学力調査
  - ④ その他の検査（確認テスト、単元テスト等）
  - ⑤ 全国学力・学習状況調査結果（児童質問）
  - ⑥ 家庭生活及び学習の状況等（児童アンケート等）

## 2 学年ごとの定着目標（数値目標）

### <国語科>

学年	定着目標
1年	・単元テストの年間学年総計点が80%以上
2年	・単元テストの年間学年総計点が70%以上
3年	・単元テストの年間学年総計点が80%以上
4年	・単元テストの年間学年総計点が70%以上
5年	・単元テストの年間学年総計点が70%以上
6年	・単元テストの年間学年総計点が70%以上

### <算数科>

学年	定着目標
1年	・チャレンジテスト平均正答率全道平均+5ポイント
2年	・チャレンジテスト平均正答率全道平均+5ポイント
3年	・チャレンジテスト平均正答率全道平均+3ポイント
4年	・チャレンジテスト平均正答率全道平均+3ポイント
5年	・チャレンジテスト平均正答率全道平均+5ポイント
6年	・チャレンジテスト平均正答率全道平均+3ポイント

### <学習・生活習慣（家庭学習等）>

学年	定着目標
1年	・家庭学習を全くしない児童0%にする。 ・ゲームやスマホ、動画視聴等の時間やルールを決めている80%
2年	・家庭学習を全くしない児童0%にする。 ・ゲームやスマホ、動画視聴等の時間やルールを決めている80%
3年	・家庭学習を全くしない児童0%にする。 ・ゲームやスマホ、動画視聴等の時間やルールを決めている80%
4年	・家庭学習を全くしない児童0%にする。 ・ゲームやスマホ、動画視聴等の時間やルールを決めている80%
5年	・家庭学習を全くしない児童0%にする。 ・ゲームやスマホ、動画視聴等の時間やルールを決めている80%
6年	・家庭学習を全くしない児童0%にする。 ・ゲームやスマホ、動画視聴等の時間やルールを決めている80%

## 3 目標を達成するための具体的な方策

- (1) 基礎学力の確実な定着を図る取組
  - ①各種学力調査やチャレンジテストの実施と結果分析
  - ②ボランティア等による長期休業などを利用した学習サポートの実施と読書時間のもち方の工夫
  - ③家庭学習の習慣化と放課後学習時間の有効活用
- (2) 確かな学力をはぐくむ授業改善の取組
  - ①探究サイクルを意識し、主体的に課題を見出し、授業で身に付けた学び方を活用する意識の醸成
  - ②単元構成の工夫、効果的なICTの活用、評価活動の工夫
  - ③思考を深め、個別最適な学びに向けた授業改善
- (3) 家庭と連携した学習習慣・生活習慣をはぐくむ取組
  - ①「家庭学習何もしないをゼロに!」を基にした家庭学習習慣の育成
  - ②望ましい学習習慣・生活習慣を確立するための中学校との連携
  - ③各種アンケート分析結果に基づく、家庭への啓蒙
- (4) その他・・・職員間での対話を活発に

## 4 実施計画

年月日	計 画 内 容
R 8年	・これまでの（前年度等）全国学力・学習状況調査の調査問題等の実施
4月	・チャレンジテスト（前年度問題）の実施 ・学校経営方針の全体懇談会での説明 ・家庭学習の手引きの保護者への配付 <b>○R 8全国学力・学習状況調査の実施</b> <b>○全国学力・学習状況調査 自己採点</b> <b>○標準学力調査実施（第3学年・第5学年）</b>
5月	・放課後学習の実施。（年間を通じて） ・校内研究授業の実施
6月	<b>○標準学力調査結果分析</b> ・これまでの（前年度等）全国学力・学習状況調査の調査問題等の実施
7月	・チャレンジテスト（1学期末問題）の実施 ・夏休み学習サポートの実施
8月	・校内研究授業の実施 <b>○R 8全国学力・学習状況調査結果分析</b>
9月	・チャレンジテスト（1学期末問題）の分析と授業改善 ・学校評価（中間評価）、授業評価の実施・分析 ・家庭学習定着に向けた取組、内容の見直し
10月	<b>○保護者への調査結果の説明</b> <b>○学力向上改善プランの評価・改善</b>
11月	・これまでの（前年度等）全国学力・学習状況調査の調査問題等の実施 ・公開研究授業の実施
12月	・小中合同学校運営協議会の開催 ・チャレンジテスト（2学期末問題）の実施 ・冬休み学習サポートの実施
R 9年	・チャレンジテスト（2学期末問題）の分析と授業改善
1月	・学校評価、授業評価の実施・分析 ・CSメンバーによる学校関係者評価委員会の開催
2月	・校内研修の反省と次年度の計画立案 ・学力向上検討委員会「確認テスト」の実施
3月	・これまでの（前年度等）全国学力・学習状況調査の調査問題等の実施 <b>○新学力向上改善プランの作成</b> ・学校評価結果の公表・新年度の学校経営方針の提示

## 5 評価方法

- (1) ①「単元テスト」「AIドリル」等による定着度の評価  
②全国学力・学習状況調査や標準学力調査、チャレンジテスト等による定着度の評価  
③学習サポートや放課後学習の実施状況、参加人数と各種アンケートによる評価
- (2) ①全教員の授業公開による評価  
②児童の様子や記録媒体、テスト結果の記録化による検証  
③公開研究会（外部講師招聘）の実施による検証
- (3) ①「全国学力・学習状況調査」、「保護者・児童アンケート」による定着度の評価  
②小中合同学校運営協議会、小中連携推進委員会等による実態の把握と研修会の実施  
③各種アンケートによる評価
- (4) 各種懇談や面談における保護者の声からの見取り